

令和 6 年 2 月 5 日

本庄市長 吉 田 信 解 様

本庄市介護保険運営協議会  
会 長 高 橋 茂 雄

答 申 書 （ 案 ）

我が国では、超高齢社会が急速に進行しており、高齢化率も上昇しております。本市においても、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年が間近に迫る中、とりわけ後期高齢者の増加傾向が顕著となり、今後は団塊ジュニア世代が 65 歳以上となり現役世代が急減する 2040 年を見据えた対策を進める必要があります。

本庄市介護保険運営協議会は、令和 6 年度から令和 8 年度を計画期間とする第 10 次高齢者福祉計画及び第 9 期介護保険事業計画について、中長期的な人口動態や介護ニーズの見込等を踏まえ策定にあたりました。PDCA サイクルの考え方を基に第 8 期計画のモニタリングを行い、引き続き、医療・介護・予防・住まい・生活支援の 5 つのサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの更なる深化と一人ひとりが生きがいや役割をもち助け合いながら暮らして行くことのできる地域共生社会の実現を目指し検討を重ねてきました。

本市における高齢者を取り巻く状況をもとに、令和 6 年 4 月以降実施される介護保険制度の改正等に対応するとともに、第 8 期介護保険事業計画期間において把握された地域の課題等を踏まえたアンケート調査やヒアリングを通し、EBPM を推進すべく議論を重ね慎重に審議を行ってきました。ここに第 10 次高齢者福祉計画及び第 9 期介護保険事業計画案を別紙のとおり答申します。